

令和3年度 学カスタンダード指導計画・報告書【様式1】

教科：(英語)科目：(コミュニケーション英語Ⅱ) 対象：(第2学年 1組～7組)

科目担当者：(1・2組：佐藤 ㊞) (3・4組：小幡 ㊞) (5・6・7組：森本 ㊞)

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ○英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ○情報や考えを的確に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1. 記述式のリスニング問題の正答率が低く、いくつかの単語は聞き取れるものの正確な理解に至っていない。</p> <p>2. 基本的なスペルミスが多く、動詞の活用や語順や代名詞など、中学での基本的な文法が身につけていない。</p> <p>3. いくつかの誤りがあるが、短文の英文が書ける生徒が半分くらいいる。しかし一貫性のある正確な3文の文章を書ける生徒は少ない。</p>	<p>1. 生徒がより多くの英語を聞き、英語で発話する機会を多く作る。</p> <p>2. 小テストや朝学習で単語などの基礎基本の徹底を図る。</p> <p>3. リスニングの教材を用い、リスニングディクテーションの力をつける。共通プリントを使って教科書の本文理解、そして文法語法に関しては入試の基礎力となる部分を全員に、また基礎学力の高い生徒や発展的な課題に取り組みたい生徒には別の課題を出す。</p>	<p>教科会等で全ての担当教諭が以下の項目を確認し、指導に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本英文法の定着 2. 小テストの実施 3. 提出物の徹底 4. 暗唱テスト等の実施

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			